

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 216

令和6年2月1日発行

CONTENTS

12月定例会

特集 北海道医療大学の移転方針を受けて p. 2

西当別小・中学校へエアコン整備 p. 4

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会

9人の議員が町の考えを質す p. 6

- ・ 当別町の介護人材不足
- ・ 既存医療機関や介護施設に支援を
- ・ こども家庭センター設置に向けて
- ・ 快適な夏季授業の実現に向けて
- ・ 未来を見据えた当別町を目指して
- ・ 低い政府補助金 農業者へ支援を
- ・ 医療大移転を契機に新たなまちへ
- ・ 地域公共交通の将来のあり方
- ・ 医療大の移転とその影響

【特集】議員インタビュー（第3回） p.18

任期中に取り組みたいことや普段の姿などをインタビューしました



北海道医療大学 当別キャンパス（北海道医療大学提供）



アンケート
はこちら

－ 特集 －

北海道医療大学の移転方針を受けて

北海道医療大学の移転方針について、12月5日の本会議で町長から行政報告がありました。この行政報告をもとに、大学移転問題の現状とこれからの課題をまとめました。

大学移転の後戻りは難しい

▼令和5年11月6日（月）

町長・役場幹部職員が、理事長・学長・副学長などの医療大学のコアメンバーと面会。当別町は、改めて移転の断念を求めたが、大学側は後戻りは難しいと回答。以降、現在まで進捗はない。

当別町 今後、課題に前向きに対処

この先も当別町が着実な成長を遂げ、魅力あるまちづくりを進めていくためには、大学側への慰留交渉は継続しつつ、課題に前向きに対処していく。



当別キャンパス全景（北海道医療大学提供）



当別町内のアパート



山田議員
一般質問
p.14



佐藤議員
一般質問
p.12



山田議員
一般質問
p.14



角田議員
一般質問
p.10

▼対処していく課題

- 校舎跡地の利活用の方向性
- 民間アパートの空き室への対応策
- 医療大学生のアルバイトによりサービス提供が成り立っている飲食店の今後の経営方針など

既に意向調査、アンケート等を実施し、分析等を進めている商工会等の関係団体と連携して、対応を協議していく。

議会では…



芳形議員
一般質問
p.11



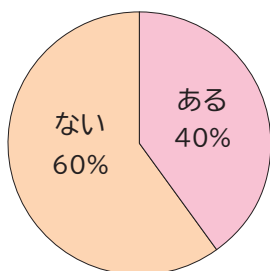
アンケート
はこちら

北海道医療大学移転に関わるアンケート調査の結果

令和5年、当別町商工会と当別アパート組合が、北海道医療大学の移転による影響等について、それぞれの会員を対象にアンケート調査を行いました。両団体から調査結果をご提供いただき、関連する議会の質問を紹介いたします。

町内の事業者への影響は？ 当別町商工会実施

移転による事業経営の影響は？



議会では…

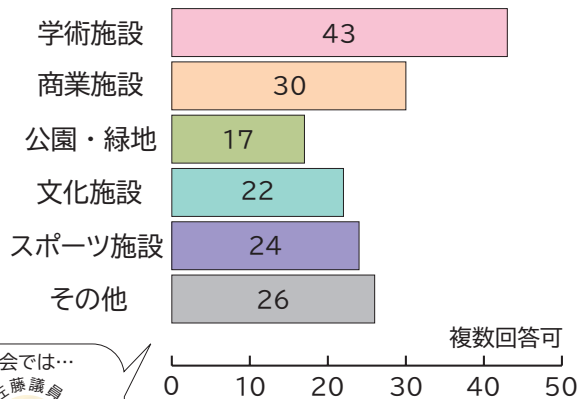
島田議員
一般質問
p. 7

角田議員
一般質問
p. 10

芳形議員
一般質問
p. 11

櫻井議員
一般質問
p. 13

移転後、ふさわしい跡地利用の在り方は？



議会では…

佐藤議員
一般質問
p.12

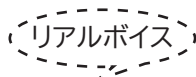
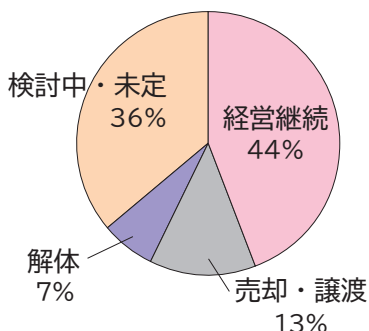
今後のまちづくりについて

- ・ 飲食業、不動産業は影響が多大である。本件に関しては、業種問わず会員の方々全体で意見交換をする場を設ける必要があると思う。将来的な町の発展について 多くの町民の方々にも意見を聞く必要があると思う。
- ・ 海外を含めた企業、研究機関、教育機関を誘致する。大学を含めた金沢地区を環境再生型農業と野生動物共生システム、タンパク質危機解決のアジアモデルをつくるための拠点へ。
- ・ 難局に直面していますが、知恵や情報を出し合い、一緒に課題解決に向け協力していきましょう。



アパート経営への影響は？ 当別アパート組合実施

大学が移転した際の今後の運営予定は？



議会では…

山田議員
一般質問
p.14

- ・ 今すぐ予定などたてられない。売却できるならしたいが当別町の中にこれだけの数のアパート、マンションがあるのにそれは無理と考える。
- ・ 移転までの間に入居者がどのように推移するかを当面注視し、経営継続の判断材料としたい。
- ・ 大学が移転した場合、募集したとしても単身者が当別で入居するとは思えない。売却しようと思っても大学が移転する事を知って購入される方が居るなら教えてほしい。



アンケート
はこちら

総務文教常任委員会（12/6）、産業厚生常任委員会（12/7）を開催し、12月定例会の議案などについて町から説明を受け、質疑を行いました。特に、西当別支所の設置や物価高騰対策について多く質疑がありました。

西当別小・中学校へエアコン整備

令和5年夏の酷暑により、児童生徒に体調不良者が続出したことを受け、西当別小学校と西当別中学校へエアコンが整備されることとなりました。工事の完了は令和6年7月の予定です。



西当別小学校（上）・西当別中学校（下）

【工事費と設置箇所】

	工事費	設置場所
西当別小学校	5,231万円	普通教室、特別支援教室、職員室、校長室、プレイハウス ※計20室
西当別中学校	4,381万円	普通教室、特別支援教室、職員室、校長室 ※計12室

※両校とも保健室とコンピュータ室はエアコン設置済みです。



冷暖房用エアコンは一般的か

学校施設改修工事 9,612万円



問 整備予定のエアコンは、冷暖房完備とのことだが、一般的な機種なのか。



答 学校のエアコンが冷暖房を完備していることが一般的かどうかは、各自自治体の考え方による。当別町では、今のところ冷暖房完備のもので考えている。

【令和5年7～8月 町内3校の状況】

	室温が31℃を超えた日	体調不良者
とうべつ学園（前期）	3日間	90人
とうべつ学園（後期）		38人
西当別小学校	18日間	165人
西当別中学校	23日間	21人

※体調不良者には、熱中症等を懸念して欠席した児童生徒も含めています。

とうべつ学園は？

とうべつ学園の校舎は、高断熱、ヒートレンチ（3～4℃涼しい外気を取り入れる仕組み）を採用しており、1階の室温は、猛暑日で比較して、西当別地区の学校より8～9℃涼しい状況でした。この状況から、町教委では、西当別小学校・西当別中学校のエアコンを先行して整備することとしました。

とうべつ学園のエアコン整備については、校舎の規模が大きく設置箇所も多いことから、工期に1年以上を要するため、令和6年度以降の設置に向けて協議を進めていくとのことでした。

（仮称）西当別支所を設置へ

西当別地区の行政サービス機能を充実させるため、太美出張所（太美郵便局内）を現在建設中のサッポロドラッグストア内に移転・拡充し、（仮称）西当別支所とすることとなりました。令和6年7月に開設予定です。



建設中のサッポロドラッグストア（太美町）



新庁舎計画への影響は

（仮称）西当別支所設置事業 2億6,165万円（20年分）



問 現在、町で進めている新庁舎計画への影響はないのか。事前に協議などは行ったのか。



答 新庁舎計画と親和性のある部分もあるが、西当別地区の行政サービス機

能を充実させることが目的であり、新庁舎と同じ議論ではない。新庁舎計画は全庁的に横串が刺さった状態で進めているので、計画に支障が出ないよう工夫してこの事業も進めている。



アンケート
はこちら

外国籍の児童生徒への対応



外国人児童への日本語指導

町立学校における外国籍の児童生徒について

問 パキスタン人の転入が特に増えており、児童も保護者も日本語が話せず大変だと聞いているが、日本語教室のようなものはできないのか。

答 パキスタンのウルドゥ語を話せる日本語指導者が見つからず、児童にはテキストで一つ一つ日本語を教えている状況である。指導者が見つければ、まずは日本語を学ばせたい。



子育て世帯の補助は対象か

子育て世帯原油価格・物価高騰対策事業 3,400万円

問 子育て世帯原油価格・物価高騰対策事業の対象児童は、住民基本台帳に記載されている者であるが、外国人の子どもも該当となるのか。

答 外国人でも当別町へ住民登録がされていれば該当となる。

物価高騰対策と支援



同時に手続きできないか

エネルギー価格高騰対策事業 1,100万円

問 エネルギー価格高騰対策事業（福祉部）と価格高騰重点支援給付金（住民環境部）は対象者が重複しているが、手続きをまとめたほうが経費が節減でき、スムーズにできるのでは。

答 福祉部の事業は早い処理が可能であるため、先に行うことを住民環境部等とも協議して判断した。住民手続きの簡略化は重要と考えており、今後できる部分があれば調整して進めていきたい。

	価格高騰重点支援給付金 (住民環境部)	エネルギー価格高騰対策事業 (福祉部)
対 象	住民税非課税世帯	住民税非課税世帯で次のいずれかであること ①高齢者世帯(70歳以上) ②障がい者がいる世帯 ③ひとり親世帯
支 給 額	1世帯 7万円	1世帯 1万円
申請期間	1月下旬	令和6年1月4日から 令和6年3月8日まで
周知方法	1月下旬～ 対象世帯へ通知を送付	町広報や町HPなど

※議会日より発行時点と情報が異なる場合があります。
詳細は町ホームページや通知等でご確認ください。

増えるアライグマへの対策



箱罠（中の鉄板を踏むとフタが閉まる仕組み）



アライグマ駆除業務委託

アライグマ駆除業務委託料 91万円

問 アライグマ駆除業務委託について、駆除委託料は1頭当たりいくらかかるのか。

答 現在は、1頭当たり2,193円の単価契約となっている。外来生物

法に基づき、町ではアライグマの防除従事者証の発行と箱罠の貸し出しを行っている。捕獲したら指定施設に運んでもらい、その施設で委託業者が処分を行うという流れである。

アンケート
はこちら

動画はこちら

一般質問

うみのまなぶ
海野 学 議員質問の
ねらい

当別町の介護人材不足

当別町では、令和5年中の半年間で、人材不足によるデイサービスの休止が2カ所あり、地域共生社会の実現に向けた当別町版地域包括ケアシステムを含めて、根底にある介護サービス事業が危機に陥っている。

当別町在住の高齢者や家族が安心した生活を送るためには、継続的な介護サービスの提供は不可欠であり、人材の確保・育成が急務と考える。



介護人材（イメージ）

ここが
聞きたい

人材不足の把握と対応

問 国は、介護サービスの見込み量等に基づき、介護人材確保に向けた取り組みを打ち出している。当別町の介護人材不足については、町はどこまで現状を把握し、対応を考えているのか。

答 サービス休止や少人数で夜勤を回すなど厳しい状況と認識。人材不足など町単独で解決が難しい課題は関係機関へ要請していく。持続可能な施設運営のため、町としても対策を検討している。

ここが
聞きたい

事業所への支援は

問 2022年におけるデイサービスの倒産・休業は、過去最多の638件に急増した。物価高騰や人件費、人材確保への支出が増加しているが、町では何か支援は考えているのか。

答 具体的な支援策として、町内事業者が行う求人募集等に対する補助、介護福祉士等の有資格者に対する就労支援などを検討している。



デイサービスの様子（本人提供）

ここが
聞きたい

人材確保の計画は

問 今後は、介護人材の確保が最も大きな課題となる。現在の第8期当別町介護保険事業計画のPDCAサイクルを踏まえ、第9期計画では、介護人材の確保をどのように計画するのか。

答 厚労省が基本指針で、介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進を重点項目としたことを踏まえ、町の計画策定委員会が審議を行っている。その中でしっかり示せたらと考えてる。



第8期当別町介護保険事業計画



詳細はこちら

アンケート
はこちら

一般質問

 しまだ ゆうじ
島田 裕司 議員


動画はこちら

質問の
ねらい

既存医療機関や介護施設に支援を

医療機関誘致条例により、この2年間で3つの医療機関の誘致に成功した。次はこれまで地域医療体制を支えてきた既存の医療機関に対して、存続のための支援策を検討すべきではないか。また、町内の介護施設

では職員不足が深刻化しており、施設やサービスの休止に追い込まれている実態もある。事業者が撤退することのないよう、町民が安心して老後を過ごせるよう、さらなる支援が必要ではないか。

ここが
聞きたい

既存医療機関にも支援を

問

議会では、町内医療機関の持続的な運営は、地域医療体制の存続に必要不可欠と捉えており、既存医療機関からの陳情も趣旨採択とした。この意向も踏まえ、改めて支援を検討すべきでは。

答

議会の意向は重く受け止めているが、他業種との公平性を考えると、重要課題が多くある中で、医療機関の優先支援は難しい。今後も医師懇談会で意見交換を行い、都度協議していきたい。

ここが
聞きたい

誘致条例を終了すべき

問

医療機関誘致条例を制定して、2年で3つの医療機関の誘致に成功し、医療過疎化の局面は脱した。目的は達成されており、過剰誘致の恐れもあるため、本条例は令和5年度で終了すべきでは。

答

今後、数年間に撤退する病院があるかもしれない。状況を見て判断していく点で、条例の期間はそのまま設定している。過剰誘致にならないよう努めていく。



養護老人ホームが入る社会福祉法人長生会(太美町)

ここが
聞きたい

養護老人ホームへ支援を

問

社会福祉法人が運営する町の養護老人ホームは、人手不足、利用者減などにより赤字が続いている。町はこれまで一定の支援をしてきたが、社会情勢を踏まえるとさらなる支援が必要では。

答

赤字が続くのは好ましくないと認識。他市町村の入居待機者受け入れなど、安定経営に向けた助言をしていく。新たな運営費補助は、他事業所等との公平性の観点から慎重な検討が必要である。

ここが
聞きたい

複合ビル建設計画が白紙に

問

当別駅前での複合ビル建設計画が白紙になったと報道されたが、建築主に事実であるか確認したか。町の図書館も入る予定だったが事前協議を行ったのか。図書館は移転できるのか。

答

医療大学の移転報道を受けて、施設の見直しは行うが、建設をやめた訳ではないと確認している。図書館を移転し、公共スペースとして活用するという考え方は変わっていない。



当別町図書館「ふくろう図書館」内部



一般質問

さ さ き つね こ 議員
佐々木 常子 議員

質問のねらい **こども家庭センター設置に向けて**

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの意見を聞き、関係機関のコーディネートを行い、必要なサービスへ有機的につなげて、一体的な相談支援を行うことは、児童虐待防止のためにも、さまざまな子育ての悩み

を抱える家族にとっても非常に重要と考える。

ここが聞きたい **こども家庭センター設置は**

問 国からも設置の通達がきており、道においても令和6年度から全域で設置を促進していくことが発表されている。町はどのように対応していくのか。

答 チャイルドファーストを掲げる町としては、支援を要する妊産婦、子ども、保護者等をしっかり支えていかなければならないと考えており、設置に関しては、十分協議を重ねて進めていきたい。

こども家庭センターとは？

全ての妊産婦・子育て世帯に対し、母子保健と児童福祉について一体的に支援を行う機関。

支援を要する人へ支援が行き届くように、妊産婦・乳幼児の支援等を行う「子育て世帯包括支援センター」と、児童虐待・不登校等の問題を抱える子どもやその家庭の支援等を行う「子ども家庭総合支援拠点」の2者が連携を強化するため、機能を統合するもの。

国は「こども家庭センター」の設置について、各自治体の努力義務としている。



詳細はこちら

ここが聞きたい **児童虐待の再発防止を**

問 児童虐待の疑いで家庭訪問されたこと自体に怒る保護者もいる。その怒りが子どもへ向かないような取り組みを道では検討しているが、それが確実に進むよう町からも道へ働きかけては。

答 児童虐待はケースごとに対応が必要のため、常に関係機関と情報を共有し、子どもの安全を一番に対応することが大切。当然、道や関係機関が進めることへの要望もしっかりと上げていきたい。

ここが聞きたい **幼児を性被害から守るには**

問 幼い子どもの胸やお尻、性器、口など、他人に触れられたくないプライベートゾーンを守るために、こども園でも性教育を取り入れることが重要ではないか。

答 教育機関が行うことも大切だが、それにも増して大切なのは家庭での教育であるため、家庭と連携しながら、道徳の授業や人権擁護委員の授業なども含めて、大切にしていきたい。

ここが聞きたい **義務教育で性教育を**

問 望まない妊娠により、生後0日で失われる命がある。中学卒業後は進路が別々となるため、義務教育期間での性教育が重要。保健師による専門的な授業などを行っては。

答 性教育は、小学校3年生から中学校3年生にかけて、年齢、理解力に合わせて行っているが、いろいろな立場から示唆いただくことは大切であると考えているため、学校と協議していきたい。

アンケート
はこちら

一般質問

 やまざき こうじ
山崎 公司 議員


動画はこちら

質問の
ねらい

快適な夏季授業の実現に向けて

今回で連続 35 回、節目の一般質問は、①第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終 5 年目にあたって、前向きな予算編成に期待し、新年度予算における重点項目について、②7 月から 3 カ月間の実証実験

を終了し、10 月から全庁的に本格導入した ChatGPT の現状について、③文部科学省は 2022 年の「問題行動・不登校調査」を発表し、過去最多を更新と報道された。これら 3 項目を中心に質した。

ここが
聞きたい

令和 6 年度の歳入見通し

問 コロナの影響も縮小傾向で、企業収益や個人消費も回復傾向だが、令和 6 年度の歳入はどのように見通しているか。

答 令和 6 年度予算は、現在、編成作業中である

が、町税やふるさと納税などの自主財源の確保が、町の施策実施に大きく影響するため、経済状況や地方財政計画等による国等の動向を注視し、積極的に歳入確保を図っていく。

ここが
聞きたい

使用料の見直しを

問 公共施設使用料について、児童生徒の無料化、高齢者の有料化など、受益者負担の観点から使用料の見直しが必要では。

答 現在、使用料改定に向けて全庁的に精査してい

る。高騰する光熱費を利用者負担とするだけでなく、移住・交流人口増加や子育て環境充実など、さまざまな町の施策に関わるため、総合的に勘案して、適切な使用料を検討していく。

ここが
聞きたい

小中学校の暑さ対策

問 令和 5 年の夏は厳しい暑さであった。町内小・中学校への暑さ対策が必要では。

答 西当別小・中学校のエアコン設置に係る補正予算を 12 月定例会で計上

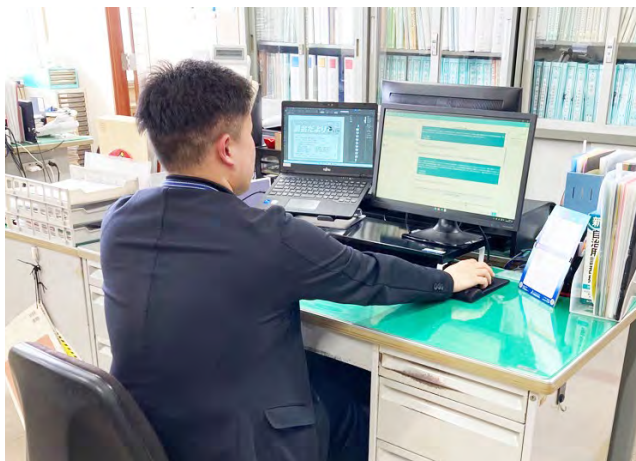
した。とうべつ学園もエアコンによる暑さ対策が必要と考えているが、校舎規模や設置箇所が多く、1 年以上の工期を要するため、令和 6 年度以降の早期設置に向け、町長部局と町教委で協議を行っている。

ここが
聞きたい

不登校の改善策は

問 不登校は原因を正確に把握し、適切にサポートすることが重要。改善策として、カウンセリングや家庭との連携等が考えられるが、具体的にどのように対応しているのか。

答 別室登校の環境整備や教職員の資質向上等、さまざまな角度で対策を講じている。今後も家庭等と連携し、オンライン学習や適応指導教室の活用、SC^{※1}やSSW^{※2}による支援等を強化する。



ChatGPT を活用する職員

ここが
聞きたい

ChatGPT の導入効果は

問 ChatGPT の導入により、業務はどれくらい効率的になったのか。作業時間の削減などは見られたのか。

答 議事録の要約やアンケートの取りまとめ等で、

作業時間の短縮が顕著に見られている。また、挨拶文や説明資料のたたき台の作成、新たな業務に取りかかる際のアイデア出しにも活用しており、業務効率化が図られている状況である。

※1 SC…スクールカウンセラーの略。児童生徒を心理面からサポートする心理専門職。

※2 SSW…スクールソーシャルワーカーの略。児童生徒を環境面からサポートする社会福祉専門職。

アンケート
はこちら

動画はこちら

一般質問

かくた ひろすけ
角田 広佑 議員質問の
ねらい

未来を見据えた当別町を目指して

9月定例会において夏期の高温対策について質問をしたが、当別町内外を取り巻く環境や状況が変化の中で、公共施設等の酷暑対策の進捗を質す。新型コロナウイルスが第5類に移行し、より一層の関係人口の

増加が見込まれる中、町の総合的な観光振興施策について伺う。北海道医療大学の移転は、人口減や中心部におけるにぎわいの喪失など、さまざまな影響が懸念される。今後のまちづくりのかじ取りについて質す。

ここが
聞きたい

高温対策の進捗状況

問 新庁舎建設検討委員会において、現庁舎を補修して使う延長利用案が示された。耐震補強等を行い、現庁舎を継続して利用することが採用された場合、庁舎の酷暑対策はどのように行うのか。

答 新庁舎の議論は、新庁舎建設検討委員会の報告後、町長である私が最終的に判断するため、現時点で対応策は示せないが、設備の二重投資とならないよう、効果的な対策を検討していきたい。

ここが
聞きたい

インバウンド増加の要因

問 町への来訪外国人数の伸び率が全国で1位と報じられたが、その要因はどのように分析しているか。また、一層のインバウンド^{※1}獲得のため、観光協会HP、観光看板等の多言語化が必要では。

答 令和4年にできたロイズカカオ&チョコレートタウンの情報がSNS等で広まり、注目されたのが要因と分析。多言語化により世界への情報発信も必要となるため、意識して対応していきたい。

ここが
聞きたい

マイクロツーリズムの推進

問 医療大学移転に伴い札沼線の利用者減は避けられない。JR 存続やマイクロツーリズム^{※2}推進のため、町内を周遊する企画切符を JR 北海道に提案することも1つ手ではないか。

答 JR の企画切符は交流人口を増やす1つのアイデアだと考えている。観光客の誘致を念頭に置きながら、医療大学移転や札沼線存続も含めて検討していきたい。



ロイズタウン駅 開業1周年記念列車「はまなす編成」

ここが
聞きたい

にぎわいづくりの対策

問 北海道医療大学の移転表明による影響は、コミュニティ喪失が一番の痛手である。地域のにぎわい創出におけるマンパワーの確保について、早急に対策を講じる必要があるのでは。

答 現在進めている移住促進や企業誘致などをベースに各種対策が必要と認識している。現段階で転出規模が見えていないため、早期に規模感を掴みつつ、具体策を見出していきたい。

ここが
聞きたい

「げんきな当別」の発信

問 町の行く末を不安視する声が多い。今こそ町長がリーダーシップを発揮して、「げんきな当別」を町長自らの声で、SNS等を用いて発信していくべきでは。具体策は何かあるか。

答 具体策は検討を始めた段階だが、当別は「魅力のある町」、「冬も含めて住みよい町」の2つをキーワードとした情報発信が重要と認識しており、これをベースに手法等の検討を進めたい。

※1 インバウンド…旅行業界における訪日外国人旅行者。

※2 マイクロツーリズム…新型コロナ流行をきっかけに広まった、自宅から1～2時間の距離の近場で行う観光。



アンケート
はこちら

一般質問

よしかた ゆきお
芳形 幸夫 議員



動画はこちら

質問の
ねらい

低い政府補助金 農業者へ支援を

畑地化申請の二次採択状況や厳しい状況にある農業者について、私の思いを示し町の見解を質した。次に、マイナンバーカードに係る事務について、健康保険証の資格確認書交付は職員へ過度な負担とならないか質

した。また、医療大移転に係り、道へ求める支援や町民の声の把握方法を質した。さらに、物価高騰が続く中での低所得者への福祉灯油支援、駅周辺再開発プロジェクトにおける図書館配置の進捗状況を質した。



農業の様子

ここが聞きたい 畑地化と離農者増加の懸念

問 農水省は要件を満たす全畑地化申請者へ対応するとのことだが、町内の状況は。燃料等の経費高騰により水田活用交付金がなければ営農は困難で、離農を考える者も多いと聞かすが、町の見解は。

答 全ての申請が採択された状況。令和6年度に検討している人もいるため、周知等に努める。交付金見直しの影響は大きく、今後離農者が増える懸念している。今後の動向を注視していく。

ここが聞きたい 資格確認証交付の事務負担

問 マイナンバーカード未交付者と保険証と紐付けていない者に資格確認証の交付が必要となるが、その事務量は職員に過度な負担とならないのか。

答 国民健康保険、後期高齢者医療の加入者には町が実施していくこととなるが、国から具体的な手法が示されておらず、資格確認書交付に係る事務負担について、現時点で示せる状況にない。

ここが聞きたい 道医療大の北広島移転問題

問 多くの町民は不安を感じ、複雑な胸中かと思われる。町民の考えや思いをどのように把握しようとしているのか。

に意向調査等を行っており、その結果は町も共有している。また、道、町、商工会に設置した窓口での相談内容も把握している。今後、町だけでなく、関係団体の調査等も活用し、必要な情報収集をしていく。

答 既に商工会では、影響が大きい事業者を対象

ここが聞きたい 福祉灯油による支援は

問 低所得者にとって灯油価格高騰は死活問題。この冬を乗り切る支援策として福祉灯油事業の実施と増額が必要では。

答 12月定例会にエネルギー価格高騰対策事業に係る補正予算を計上している。これは地方創生臨時交付金を活用するため事業名は異なるが、福祉灯油事業と同様の措置をした事業である。

ここが聞きたい 今後の図書館の施設配置は

問 令和5年度町政執行方針の駅周辺再開発プロジェクトの中に、図書館の施設配置や事業化に向けた検討を行うとあるが、進捗状況は。

答 現在、民間事業者が設計を見直しているところ。これまで図書館機能やスペース有効活用の検討、町民との意見交換会などを実施してきた。引き続き、官民連携で取り組みを進めていきたい。

アンケート
はこちら

動画はこちら

一般質問

さとう たつ
佐藤 立 議員

医療大移転を契機に新たなまちへ

北海道医療大学が町外へ移転した場合、当別の地域社会・地域経済に大きな影響を与える。応急的な対応は必要だが、これを変革の契機として捉え、町民と行政が主導する新たなまちづくりの軸を定めることが

重要。そこで、新たなまちづくりの軸を定めるにあたって、当別町の基本的な姿勢を問う。また、ふくろう図書館を民間事業者が当別駅南口に建設するビルに移転させる等のプロジェクトの見通しを問うた。

ここが聞きたい 跡地利用は手段に過ぎない

問 医療大移転を踏まえた新たなまちづくりの軸の策定にあたって、主な目的は、地域経済・地域社会に着目した町民の幸福追求であり、大学施設の利活用はそのための手段と考えてよいのか。

答 跡地利用が町の目指す方向性と合致するならば、新たなまちづくりの手段になり得る場合もある。町の経済と切り離された中で決定されて良いという短絡的な考え方は持っていない。

ここが聞きたい 町と町民主導のまちづくり

問 行政や町民が意思決定に関与できない組織に依存するリスクが、大学移転により明らかとなった。今後は、行政と町民が進めることが重要ではないか。

答 主導というよりは、町が目指すまちづくりの目的や狙いを前提に、町民、企業、行政が一体となって進めていくことが、まちづくりの実現に重要なポイントだと考えている。

ここが聞きたい 1つの組織に頼るリスク

問 町内経済へのメリットを前提としつつも、また1つの組織で解決しようとする、同じリスクを抱える。一社に絞らずにリスクを分散し、複数の民間企業とまちづくりを進めることが重要では。

答 町の将来を特定の事業に委ねることは、今までもしていない。これからは複数のまちづくりの柱を立ててバランスを取り、健全に発達するよう取り組みを進める。

ここが聞きたい 町民を巻き込んだ合意形成

問 当別町として、新たなまちづくりの軸を検討するにあたっては、町内のさまざまな動きと歩調を合わせて、町民を巻き込んだ合意形成が重要ではないか。

答 町民はもちろん、関連企業を含め官民一体となって進めていくことが、非常に重要なものであると認識しており、いろいろな意見をいただく中で政策決定をしていく。



JR当別駅南口

ここが聞きたい 当別駅南口の賑わいづくり

問 当別駅周辺の人々の流れや交流の活性化を促すために、より効果的な手法がある場合は、既存の計画にこだわらず、国の他の制度活用も含めて、幅広い選択肢の検討が必要では。

答 図書館移転が最も適した形と考えている。ただ、駅周辺の賑わいは何よりも重要なため、あらゆる可能性を排除せず、活用できる制度の動向を注視し、より効果的な手法での事業推進を目指す。

アンケート
はこちら

一般質問

さくらい のりえ 議員
櫻井 紀栄 議員質問の
ねらい

地域公共交通の将来のあり方

ふれあいバス運行にあたっては、北海道医療大学が協議会負担金の約3割を支出しているが、大学が移転すると大きく状況が変わる。町民の移動手段を確保し続けるため、公共交通の抜本的な見直しについて

質した。本町地区では冬季間エリア限定デマンドバスを使い、登下校できるとの案内がされ、厳しい冬季間をバスで登下校できるようになった。太美地区でも、全ての人々が等しくデマンド交通※1を使えるよう質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

運行路線と運行形態の見直し

問 バスの利用が大きく減少することが想定される路線などは、バス路線ではなく、デマンド交通やライドシェア※2など含めた柔軟な交通体系への転換も視野に検討する必要があるのではないか。

答 既存路線やタクシー事業者への影響も勘案し、公共交通の維持・確保に向けた各種検討を地域公共交通活性化協議会に促していく。ライドシェアは法で規制されているため、国の動向を注視する。

ここが
聞きたい

スクールバスの統合

問 スクールバスは年間約7千万円の経費を要して、年約6千万円を要するふれあいバスと比べても主要な交通機関と言える。ふれあいバスと統合するなど、仕組みの一体化を検討しては。

答 スクールバス、ふれあいバスのそれぞれの役割、サービス水準の維持を前提に考えると、現段階では難しいと判断しているが、将来的には検討が必要になるものと提案を受け止めている。

ここが
聞きたい

統合は柔軟に検討を

問 ふれあいバスとスクールバスの統合に関して、国の制度上では運行形態は問わておらず、他市町村でも行われている手法である。子どもの通学手段を確保できるなら、柔軟に検討すべきでは。

答 スクールバスとふれあいバスの目的や役割が一致するかどうか、教育の観点から見てどうかという問題もあり、今後の検討課題としたいと考えている。



ふれあいバス

ここが
聞きたい

西当別にデマンド交通を

問 西当別地区にはデマンド交通が設定されていない。子どもから高齢者まで安心して移動できる環境を整えるために、本町地区の市街地予約型線のようなデマンド交通の検討が必要では。

答 既存バス路線との重複、タクシー事業者との競合による公共交通事業全体への影響も踏まえて、西当別地区の人口動態や今後の利用状況の推移を見て検討していきたい。

ここが
聞きたい

とべる号のソフト面整備

問 ふれあいバスととべる号の統合に関して、以前、回数券を共通化してはとの議論もあったが、利用者数を確保するならば、それも含めてソフト面の改善が必要ではないか。現在の検討状況は。

答 具体的な方向性が見えていない状況ではないが、課題等も含めて引き続き検討している。回数券の在り方についても、並行して協議をしていきたい。

※1 デマンド交通…予約に応じて運行する時刻・経路を変える交通方式。

※2 ライドシェア…個人間で自動車の相乗りを行うこと。



アンケート
はこちら



動画はこちら

一般質問

やま だ あきら
山田 明 議員

質問の
ねらい

医療大の移転とその影響

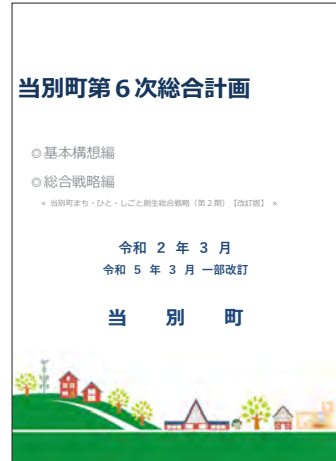
当別町は、医療大学の存在を前提として、まちづくりを進めてきたが、北広島市への移転が決まれば、当別町に大きく影響する。「人口減少」、「町内消費減退」、「税込減」、「アパートの家賃収入減」、「大学跡地問題」

など、今後、町と大学でこれらの問題について協議があるものと捉えているが、具体的にどのような対応を検討しているのか。

ここが聞きたい 計画見直しの手順は

問 町の上位計画である当別町第6次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略などは、医療大学の移転に伴い、見直す必要があると考えるが、どのような手順で行う予定か。

答 計画期間終了前に計画改定や新計画策定を行い、新たな指針を定める必要があると考えている。課題が多角的であるため、総合計画審議会への諮問など、意見をもらいながら決定していく。



詳細はこちら

当別町第6次総合計画

ここが聞きたい 民間アパートの借り上げは

問 町内のアパートから、学生等が退去すると、家賃収入が2.4億円減ると予想されている。町営住宅長寿命化計画の見直しと併せ、民間アパートを町営住宅として町が借り上げすることは可能か。

答 町営住宅等長寿命化計画は、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて適宜見直すこととしている。各種上位計画との整合性を図りながら、民間アパート借り上げも含めて検討していきたい。

ここが聞きたい 慰留に向け札幌市と連携を

問 あいの里にある医療大学病院には、地元住民から移転反対の要望書が提出されており、札幌市にとっても医療大学移転の影響は大きい。札幌市と連携して慰留に努める検討はしたか。

答 町外の施設であるため、慰留については札幌市の意向も踏まえて対応する。移転した場合でも、通院している町民の医療を受ける機会が確保されるよう、大学側には強く要請していきたい。

ここが聞きたい 医療大学の跡地利用は

問 医療大移転後の跡地利用はどのように検討しているか。また、医療大駅周辺の再開発などは検討できないのか。

ことはできないが、町にとってより良い方向に進むよう努めていく。駅周辺の再開発は、今後、大学側から示されるであろう跡地利用の方向性や、JR北海道の動向等を見極めて判断していきたい。

答 所有権は大学側にあり、町主体で検討を進める

ここが聞きたい 大学側との協議は慎重に

問 資材や燃料の高騰により、移転経費の増加や工事の遅延が生じ、移転の時期や計画が変更になることも想定される。状況変化に応じて、大学側と慰留に向けた協議を慎重に進めるべきでは。

答 大学の決意は固く、着々と移転に向けて推移していると認識。わずかでも町に残る可能性があるなら、最後まで慰留に努める。状況変化を的確に捉え、関係団体と連携して対応していきたい。

アンケート
はこちら

総務文教 倶知安町と古平町を視察 常任委員会

11/13-14 道内所管事務調査

羊蹄山を模した表示
(倶知安町役場)

倶知安町と古平町を訪問し、先進事例について視察研修を行いました。

倶知安町では、多く訪れる外国人のための窓口や広報などの外国語対応、令和3年に完成した新庁舎の機能などの項目について説明を受け、研さんを積んできました。

古平町では、令和4年に完成した、庁舎機能や図書館などの機能を併せ持つ複合施設について、説明を受け、研さんを積んできました。

倶知安町役場



窓 口



展望テラス

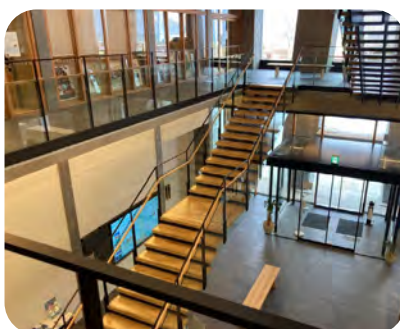


議 場

古平町複合施設



外 観



中央階段



議場を兼ねた中ホール

産業厚生 鷹栖町と紋別市を視察 常任委員会

11/16-17 道内所管事務調査

鷹栖町と紋別市を訪問し、先進事例について視察研修を行いました。

鷹栖町では、介護人材の確保・育成に産官学が連携して取り組んでおり、福祉系事業所の専門職である町民の奨学金返還補助や、介護福祉士を目指す外国人への給付型奨学金など、さまざまな取り組みについて説明を受け、研さんを積んできました。

紋別市では、道都大学旧紋別キャンパスの誘致から撤退までの経緯経過や、市が行った大学へ対する財政支援の内容や金額などについて説明を受け、研さんを積んできました。



鷹栖町役場 議場にて



紋別市 視察の様子



アンケート
はこちら

森林
活性化推進
議員連盟

林道と町有林を視察

10/18 研修会

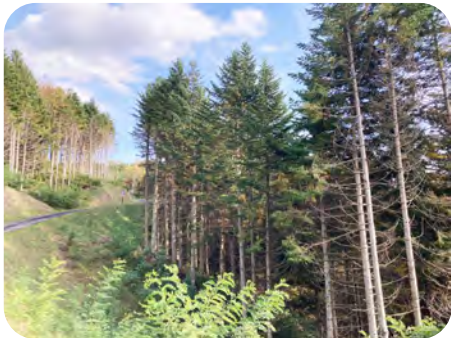
森林活性化推進議員連盟では、当別町経済部の吉野裕宜参与（ゼロカーボン担当）を講師に迎え、実際に林道や町有林を視察し、当別町の森林整備状況について研修を行いました。



林道 曾根の沢線



森林整備の作業現場



林道と町有林



植樹を行う植栽地

令和5年第4回定例会

日程：12月5日～12日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果
掲載ページ

傍聴 11名 議会中継視聴回数 1,076 回（1 / 22現在）

【行政報告】

北海道医療大学の当別キャンパス移転問題について

p. 2
p. 3

【人事案件】

固定資産評価審査委員会委員の選任について

吉原 洋 氏の任期満了に伴い、同氏を再任しようとするもの

◎

—

人権擁護委員の候補者の推薦について

堀内 教子 氏の任期満了に伴い、同氏を再任しようとするもの

◎

—

【条例】

当別町職員の給与に関する条例及び当別町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

職員の給与の改定等を行うための条例の一部改正

◎

—

当別町会計年度任用職員の給与及び費用弁用に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴う条例の一部改正

◎

—

当別町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正等に伴う条例の一部改正

◎

—

当別町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

印鑑登録証明書の交付に関する利便性を高めるための条例の一部改正

◎

—

下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例制定

下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の一部改廃

◎

—

当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正

◎

—

【補正予算】

令和5年度一般会計補正予算（第3号）

8億 6,043 万円を増額し、総額を 148 億 4,758 万円とするもの

◎

p. 4
p. 5

令和5年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）

528万円を減額し、総額を9億 4,786 万円とするもの

◎

—

令和5年度水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出の総係費を 455 万円減額等するもの

◎

—



アンケート
はこちら

【補正予算】		
令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 743万円を増額し、総額を21億4,734万円とするもの	◎	—
令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 1,243万円を減額し、総額を2億8,131万円とするもの	◎	—
令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 480万円を増額し、総額を18億194万円とするもの	◎	—
【委員会報告】		
総務文教常任委員会報告 道内所管事務調査の実施について	◎	p. 15
産業厚生常任委員会報告 道内所管事務調査の実施について	◎	p. 15
【請願・陳情】		
《令和5年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 現行の健康保険証の廃止方針を撤回することを求める意見書の採択を求める請願書 [提出者] 新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者] 当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※ 現行の健康保険証の廃止方針の撤回を求めるもの	不採択	p. 17 討論
《令和5年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 月形当別線バス「とべる号」運行に関する請願書 [提出者] 金沢子ども育成会 会長 服部 実香、担当 隅田 陽子 [紹介者] 当別町議会 議員 佐藤 立 ※ とうべつ学園の部活動に合わせた時間帯での運行などを求めるもの	継続審査	—

3月定例会のご案内

【予定】
3月1日（金）～15日（金）
【内容】
新年度予算審査、代表質問など
※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※ 決定次第ホームページへ掲載します。

各質疑の動画が見られます

各質疑の左上に、その質疑シーンが見られる二次元バーコードを載せました。検索せずに見られます。ご活用ください。

【注意】

各質疑左上の二次元バーコードのリンク先は、当議会のホームページではありません。アクセス等により何らかの損害等が生じても当議会は一切責任を負えませんので、ご注意ください。詳しくは、当議会ホームページ「議会中継」-「注意（免責）事項」をご確認ください。

討論

現行の健康保険証の廃止方針を撤回することを求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 芳形議員



懸念が多く、利点がない。
マイナンバー制度のセキュリティ上や、資格確認書の更新漏れにより保険診療が受けられなくなるなどの懸念があり、病院の約半数が患者への利点はないと感じている。

【賛否が分かれた採決の公表】

角	海	芳	櫻	佐	佐	西	五	山	秋	山	古	島	稲
田	野	形	井	々	藤	村	十	崎	場	田	谷	田	村
不	不	採	採	不	不	不	不	不	不	採	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局
〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247
FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

～ WEB アンケートも実施中～

読者 WEB アンケートを実施しています。各ページを評価するだけの簡単なものです。各ページの二次元バーコードから回答できます。今後の参考としますので、ご協力よろしくお願ひします。



アンケートはこちら

※ 北海道電子自治体共同システムを利用しています。



アンケート
はこちら

【特集】 議員インタビュー(第3回)

議会広報特別委員会では、町民に寄り添った身近な議会を目指す上で、改めて議員についてよく知ってもらう必要があると考え、この度、議員へのインタビュー記事を企画しました。

第214号から第216号の3回にわたり、議席番号順に5人ずつインタビュー記事を掲載して、各議員を紹介していきます。

今回は、山田 明 議員、古谷 陽一 議員、島田 裕司 議員、
稲村 勝俊 副議長、高谷 茂 議長のインタビューです。

やま だ あきら
山 田 明



12月の一般質問にて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 次代を担う子どもたちへ、当別町を「より良い町」にして引き継ぐために、当別町のポテンシャル（豊かな自然があること、札幌市に隣接していること、交通アクセスの良さなど）を活かして地域の課題克服に努めて参ります。

Q. 具体的には何に取り組みたいですか。

A. ①商工業活性化に向けた意欲ある若手後継者の育成、②安心して子どもを産み育てるための子育て支援策の充実、③住民の生命・財産を守るための防災体制や災害対策の充実、④お年寄りが住みやすい町となるための福祉の充実、以上4点について取り組んで参ります。



ふる や よう いち
古 谷 陽 一



当別消防出初式にて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 美しく活力あるまちづくりを目指して、基幹産業である農業の発展をはじめ、商工業の充実、特に商店街の活性化を図ること、子育てしやすい環境の整備、未来を担う若者の活躍の支援、高齢者が住みやすくなるようなサービスの充実に努め、安心、安全なまちづくりに努めて参ります。

Q. 心掛けていることは？

A. 少子高齢化、人口減少が大きな問題です。持続可能なまちづくりを進める中、北海道医療大学の移転問題により厳しい状況ですが、北海道の中心である札幌市と隣接している地の利と、豊かな資源を生かして企業誘致等を推進し、本町の発展に取り組んで参ります。



アンケート
はこちらしまだ ゆうじ
島田 裕司

総合体育館ロビーにて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 町内外で活動している人材とのつながりを強くして、それぞれのスタイルで良いので、これからの当別のまちづくりに興味を持って参加してもらえる人を支援したいと思っています。

Q. 他に取り組みたいことは？

A. 議員のなり手不足解消に取り組みたいです。現在、全国、全道の議会議員のなり手不足が問題となっています。町村ではその傾向が特に顕著で、当別町議会も同様の問題を抱えており、町民の方と共に、優先して取り組むべき課題と考えています。議会は皆様の町政に対する熱い思いと参加を待っています。

いなむら かつとし
稲村 勝俊

家具工房 旅する木の前にて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 議会は町の活性化や町民福祉向上の役割を担っています。議会の権能である議決権、質問権、提案等を通して、町政へ対応を求めて参ります。1つ目は「北海道医療大学の移転問題」です。今後の推移を見極め、町と情報を共有して取り組んで参ります。2つ目は「水田活用の直接支払交付金の見直し問題」です。当別町への影響は特に大きく、生産者は2026年までに経営方針を確定せざるを得ない状況です。後継者問題等も重なり耕作放棄地が増え、混乱や衰退が想定されます。当別町農業が持続可能なものとなるよう長期的ビジョンを共有し、政策の構築を進めて参ります。

たかや しげる
高谷 茂

当別町はたちのつどいにて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 町民一人一人が目的意識をもって働き、教育や福祉など町民同士が支え合う町をつくりたいです。町内の空き家や商店街の空き店舗などを活用し、若い人たちが活躍する場を提供し、にぎわいのある町を目指したいです。

Q. 他に取り組みたいことは？

A. 議員一人一人がしっかりとした議員活動ができる議会を作りたいです。具体的には一般質問をする権利など、議員に与えられた権利を守り、魅力的な議会運営を進めたいです。そして議員のなり手不足を解消、特に女性議員を増やしたいです。



今号で、全員の議員インタビューが終了しました。

今後も議会がより身近に感じられるよう努めて参ります。ありがとうございました。

議会のうごき（令和5年11月～令和6年1月）

11月 1日 鶴居村議会行政視察来庁 2日 産業厚生常任委員会 6日 総務文教常任委員会 7日 岐阜県富加町議会行政視察来庁 8日 長野県飯田市議会行政視察来庁 9日 議会広報特別委員会 13日 総務文教常任委員会道内所管事務調査 14日 総務文教常任委員会道内所管事務調査 15日 山形県尾花沢市議会行政視察来庁 16日 当麻町議会行政視察来庁 産業厚生常任委員会道内所管事務調査 17日 産業厚生常任委員会道内所管事務調査 21日 会派代表者会議 27日 議会運営委員会 議員協議会 12月 5日 議会運営委員会 会派代表者会議 議員協議会 第4回定例会	12月 6日 総務文教常任委員会 7日 産業厚生常任委員会 8日 議員協議会 第4回定例会 産業厚生常任委員会 11日 第4回定例会 12日 議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会 19日 議会広報特別委員会 25日 議会運営委員会 1月 5日 議会広報特別委員会 15日 議会広報特別委員会 18日 愛媛県議会行政視察来庁 22日 議会広報特別委員会 23日 議会運営委員会道内所管事務調査 24日 議会運営委員会道内所管事務調査
--	---

クロスワードに挑戦しませんか？

クロスワードに挑戦しませんか？タテのカギ、ヨコのカギをヒントにマスを埋めて【キーワード】を導き出しましょう。右の二次元バーコードから、紙面アンケートにご回答いただくと、【キーワード】の答え合わせができます。紙面アンケートは、より良い紙面作成の参考とさせていただきますので、ぜひご協力をお願いします。



アンケートはこちら

1		2	イ	3		4
5	ウ					
		6				ア
7	8					エ
9						
			10			

～タテのカギ～

- 1 食用もある、エゾ〇〇
- 3 西ヨーロッパの国名。闘牛が有名
- 4 当別町の姉妹都市、レクサンド市がある国名
- 6 ホームページ等の通称。「ファン〇〇〇」
- 7 温泉やあいあい公園がある当別町の地区
- 8 油の原料となる花。早朝のみ花が咲く

～ヨコのカギ～

- 2 キク科の花名。秋桜
- 5 石川県の旧国名。「〇〇百万石」
- 6 アフリカに生息する、頭に角がある動物
- 7 カメラでピントを合わせるのぞき窓
- 9 赤い色をした野菜。ケチャップの原料
- 10 物事を習うときに学ぶ人や物、先例

【キーワード】

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

編集後記

つらい暑さから一変、凍える季節になりました。今回の秋はいつにも増して瞬く間に過ぎ去ってしまったようです。

さて、12月定例会では、西当別地区の学校のエアコン設置に係る予算が計上されました。子どもたちをはじめ、保護者や職員にとっても

喜ばしいことだと思います。また、医療大学移転に関わる議論は、多くの議員が一般質問を行い、あらゆる分野にわたり多角的な質問がされました。今号では巻頭特集を設け、現状の課題や今後の方針を分かりやすくまとめました。

議会広報特別委員会委員 櫻井 紀栄

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 立	副委員長 佐々木 常子	委員 櫻井 紀栄	
委員 芳形 幸夫	委員 海野 学	委員 角田 広佑	